

< 館長報告 >

館長 土井 承夫 (どいよしお)

たそがれ時の風の涼しさが夏の終わりを告げ、日ごと秋の近さを実感する今日この頃です。皆様には各方面で益々ご活躍の事とお慶び申し上げます

<重要>8月22日に倉吉市役所より、今般の福庭自治公民館新築の財源の根幹をなす令和元年度の「コミュニティー助成事業補助金申請書」が届きました。提出期限は9月30日です。この新築計画は平成30年(2018年)4月から17か月にわたって毎月の「館長報告」を通じ皆様と共に検討してまいりました。その過程で蓄積してきた沢山の客観的データを存分に駆使し完璧な申請書作成を目指して必ず期限までに倉吉市に提出致します。

<福庭自治公民館新築特別寄附金(自主的な寄附)の集計状況>

住民の皆様からの上記の自主的な寄附金の集計状況をこの後もこの館長報告でお伝えしていきます。ご寄附は新公民館が完成する来年2020年12月31日まで受け付けます。

受け付け窓口は館長の私、土井承夫です。(26-0770、携帯 080-4261-1979)
お電話を下されば、ご持参いただかなくとも私が戴きに参ります。

*令和元年(2019年)8月31日(土)現在の集計結果(総計)は次の通りです。

(1) 寄付頂いた世帯数： 133世帯 (全体の約48.7%)

(2) 寄附金の合計： 404万円

(3) 個々の寄付金額の概要：最高額：30万円(1名)、
25万円(2名：1名は福庭、もう1名は福庭以外の方です)10万円(12名)
5万円(10名)、3万円(17名)、2万円(12名)、1万円(78名)他

(4) 今回は寄附を見送られた世帯数： 140世帯

*目標は1,000万円です。皆様、更にご検討ください。

<館長の行動日誌> (8月分)

- 8月3日(土) 定例役員会を福庭公民館で開催。内容は報告済。
- 8月4日(日) 8/10に開催される「福庭納涼まつり」の会場である河北中央公園の草取りを公民館役員と共に行った。
- 8月6日(火) 「県民による第九」倉吉公演 事務局長として会長の藤井一博 敬仁会・仁厚会 理事長と面談。(倉吉病院内 理事長室) 大会長の山田衛生先生と敬仁会 副理事長の池井輝夫氏も同席された。
- 8月8日(木) 鳥取県立倉吉未来中心内に「第九サロン事務局」設置に向けて野崎 淳 未来中心館長と面談。
- 8月9日(金) 翌日10日(土)の福庭納涼まつりの準備として上井公民館から総務、社教、体育の各部長とともにテント類等をお借りした。
- 8月10日(土) 福庭納涼祭り当日。福田稔実行委員長、中山浩一副委員長とともに大会長として運営にあたった。祭りの様子は8月30日付け日本海新聞19面「はい、こちら通信部」に掲載された。取材と記事は倉吉北通信部宮本浩和部長<19班>
- 8月11日(日) 第69回 鳥取県母子寡婦福祉研修大会出席を粹島和江理事長より要請され米子コンベンションセンターに行った。京都からの冷泉家(れいぜいけ)第25代為人(ためひと) 婦人 冷泉 貴実子氏の講話「和歌に詠まれた四季」を聴講する。(特に感想なし) その後のシンポジウムで講師の県人材局課長や米子職安統括指導官、新聞社 OBの方々が、寡婦の厳しい経済的現状を全く考慮せずにマニュアル的に話を進められたので発表データのいい加減さも含めてその講師の皆さんを厳しく叱責して会場を途中で去った。(然し、「啖呵(たんか)を切った」訳ではない事をご理解下さい。その後、数人の寡婦の方々からは感謝の言葉を頂いている) 夜は小谷弘幸先生ご指導の新合唱団「レインボウバード・Rainbow Bird」の練習に参加した。(上灘公民館) 森山直太朗の「虹」と坂本九ちゃんの「見上げてごらん夜の星を」を練習した。
- 8月12日(月) お盆の棚経。洞光寺ご住職が拙宅に来られる。
- 8月14日(水) お盆の墓参り。台風の為、15日の「仏さん送り」の行事は中止する旨町内放送した。
- 8月17日(土) 翌日の全日本合唱コンクール・フェスティバル鳥取県大会(倉吉未来中心) 出場に向けて、混声合唱団「みお」と前述の「レインボウバード」のリハーサル練習。
- 8月18日(日) 全日本合唱コンクール・フェスティバル鳥取県大会(倉吉未来中心大ホール) に出場。混声合唱団「みお」では高田三郎作曲の「水のいのち」より「雨」と

鈴木憲夫作曲の「ほほえみ」より「めぐりあいの中に」を演奏、指揮は鳥取県合唱連盟理事長の山田衛生先生。合唱団「レインボウバード・Rainbow Bird」では前述した2曲を小谷弘幸先生（県立日野高校教諭）の指揮で歌った。

- 8月19日（月）第61回 倉吉市グラウンドゴルフ大会に出場（大御堂廃寺記念公園・倉吉未来中心と市ラグビー場の隣り）
午後は上井地区17自治公民館の館長会（上井公民館）に出席。
夜19時からは倉吉駅「駅パル」で開催された高校同級生主催の「第2回人工知能勉強会@倉吉」に参加。「ベイズ統計学」なるものを学んだが
内容はほとんど理解できなかった。然し、その授業の短い時間だけでも忘れかけていたちよっぴり都会的でアカデミックな雰囲気に触れる事ができ何だか訳もなく嬉しかった。
- 8月20日（火）河村地区（ここ倉吉・羽合・東郷・埴見地区の昔の呼称）神社総代会のバス日帰り旅行に参加。福庭より6名が参加。福庭の幹事は波波伎神社護持会長の清水清剛さん（5班）岡山県の吉備主神社などを参拝した。
- 8月21日（水）倉吉市社会福祉協議会の地域福祉課と何度も情報交換した結果、上井地区17公民館で初めて同協議会から支給される「あったかハートおたがいさま事業補助金」の満額5万円を獲得した。この内容については別途報告します。これに関連して市の福祉課からも担当者と呼び福祉センターで「支え合いマップ」の作り方や考え方を勉強した。
- 8月23日（金）「県民による第九」事務局長として、本会の前会長である藤井省三 仁厚会・敬仁会 会長と会長室（倉吉病院内）で面談。山田衛生 先生も同席された。この地域では一大コングロマリットの総裁であり 県会議長のキャリアもお持ちの要人ではあるが、実際お会いするととても気さくな方で慈愛溢れる目線から醸し出される優しさは、リーダーにはそれが不可欠な条件であることを改めて教えて頂いた。
- 8月27日（火）私は昔から阪神タイガースのファンだが、この日生まれて初めて阪神甲子園球場に「阪神 対 中日」のナイターを観戦しに日交高速バスで現地に向かった。朝から雨だったがバスの中から何度も甲子園インフォメーションダイヤルに電話して「試合あり」の確認を午後3時まで行い雨カッパも準備して午後4時前に阪神電車甲子園駅に着き改札の手前まで来たところで「雨のため試合中止」のアナウンスを聞く。
茫然自失のまま帰りの倉吉行き夜行バス三ノ宮発午後10時20分までの5時間あまり、雨降りしきる夜の三ノ宮界隈を飲み歩いた。夜の三ノ宮ビル街は東京の丸の内オフィス街を思わせる様な整然とした街並みで

タイガースのナイターは観れなかったが、何か新しい発見をしたようでもう一度行って観たい「夜景の綺麗な神戸三ノ宮」の風景だった。

8月30日（金） 倉吉市老人クラブ連合会の研修委員会に出席。9/11からの2泊3日の旅行日程や配車等について打ち合わせた（倉吉福祉センター大会議室）

～ 館長のちょっと一服コーナー ～

< 世界における「台風」の呼び方について >

今、まさに台風シーズンであり今日も天気予報で13号、15号の2つの台風の進路について報道していた。ところでアメリカの台風報道ニュースをご覧になった方も多いただろうが、台風ではなくて「ハリケーン・ドリアン」とか「カトリーヌ」とか耳慣れない呼び方に違和感を持たれた人もいらっしゃるだろう。いったい、世界では台風の事をどれだけ違う名前と呼んでいるのだろうかと思ひ少し調べてみた。**世界中で発生している熱帯低気圧は、主に発生場所によって呼び方が変わります。**

まず、**台風（タイフーン・Typhoon）**は太平洋北西部で発生した熱帯低気圧のです。語源はギリシヤ神話最大の怪物デュポン（Typhoon）からきています。次に**ハリケーン(Hurricane)**は、大西洋北部・太平洋北東部・太平洋北中部で発生した熱帯低気圧です。語源はカリブ海の邪神ウラカーン(Huracan)からきています。そして、**サイクロン(Cyclone)**はインド洋北部・インド洋南部・太平洋南部で発生した熱帯低気圧です。ギリシヤ語のキクロン（Kyklon）からきています。

それではここで問題です。もしインド洋で発生したサイクロンが太平洋まで移動して来た場合は名前はどのようなのでしょうか？・・・この様な熱帯低気圧は「越境台風」と呼ばれ名前はサイクロンから台風に変わります。

また、日本やアメリカを含む14か国が加盟する「台風委員会」というのがあって台風の名前を140個既に決めています。2018年6月に発生し、日本にも接近して伊豆諸島などに大雨をもたらした「台風5号」は「マリクシ」という名前が付けられており、これは加盟しているフィリピンが命名した現地タガログ語の名前で「速い」という意味です。140の名前の中で私が変わっていると思ひするのは、マレーシアの「ターファー」（なまず）、マカオの「リンファ」（はす・蓮）、ミクロネシアの「ライ」（ヤップ島の石の貨幣）、韓国の「ノルー」（のろ鹿）などです。アメリカはほとんど「マリア」「フランシスコ」などの人名、日本は全部「てんびん」「やぎ」「うさぎ」等の星座の名前です・・・何か芸がないですね・・・

以上

